

2021年度 彩の国カップ第26回埼玉県サッカー選手権大会
大会要項

【大会名称】

2021年度 彩の国カップ 第26回埼玉県サッカー選手権大会

【主催】

(公財)埼玉県サッカー協会

【主管】

(公財)埼玉県サッカー協会 第1種委員会

【共催】

共同通信社さいたま支局・埼玉新聞社

【後援】

テレ玉・FM NACK5・NHKさいたま放送局

【協賛】

(株)モルテン

【期日】

準決勝:2021年4月17日(土) 第1試合 11:00キックオフ 第2試合 13:00キックオフ

決 勝:2020年5月8日(土) 13:00キックオフ

【試合会場】

準決勝 埼玉スタジアム2002第3グラウンド／決勝 埼玉スタジアム2002第2グラウンド

【参加チーム】

(公財)日本サッカー協会に第1種登録し、尚且つ埼玉県社会人サッカー連盟、埼玉県大学サッカー連盟に加盟しているチームであること。また、各連盟で勝ち上がったそれぞれ2チームとする。

【大会方式】

ノックアウト方式により決定する。3位決定戦は実施しない。

【出場資格と選手証】

- ① 本大会に参加申込みを完了したスタッフ、選手のみが試合における出場資格をもつ。本大会の参加申込み選手の人数は1チーム30人までとする。
- ② チームは試合出場に際し、WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証、登録選手一覧を印刷、あるいはスマートフォンやPC等の画面に表示することができるようにしておかなければならない。
ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものとする。

【参加申込み】

すべてのチームは所定の手続きにより第1種委員会に届け出なければならない。

原則、選手及びユニフォームに関しては届け出後の変更を認めない。

- ① 役員及びチームスタッフの変更については、別途定める期限までに第1種委員会に申告する。
- ② 参加申込みは、別途定める期限までに登録を済ませる。

【外国籍選手】

- ① 参加チームは、本大会に5名までの外国籍選手を参加申込することができる。そのうち試合にエントリーできるのは3名までとする。
- ② 外国籍の選手は就労または就学ビザ取得者に限り、(公財)日本サッカー協会に外国人登録を行った上登録できる。
- ③ 日本で義務教育を受けた選手1名を(公財)日本サッカー協会に申請し、外国籍扱いしない登録選手にすることができる。

【試合エントリー選手の人数】

各試合にエントリーできる人数は、選手18名、役員7名とする。

【ベンチ入りできる人数】

各試合にベンチ入りできる人数は、選手7名、役員7名とする。

【選手の交代】

選手の交代は、次のとおりとする。

- ① 試合中の選手交代は5名以内とする。
- ② 交代は、退出選手の選手番号を交代ボードで提示したうえ、行わなければならない。

【試合の勝敗の決定】

- ① 試合は90分(前・後半45分)とする。
- ② 90分で勝敗が決しない場合、30分(前・後半15分)の延長戦を実施する。
※延長戦に入る前のインターバル:3分以内
- ③ 前項の延長戦で勝敗が決しない場合は、ペナルティーキック方式にて次回戦進出チームを決める。
※ペナルティーキック方式に入る前のインターバル:1分以内

【ユニフォーム】

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会ユニフォーム規程による。

【審判員】

主審、副審、第4の審判員については、本協会審判委員会に派遣を依頼する。

【マッチコミッショナー】

マッチコミッショナーをおく。

【会場への到着】

チームは、キックオフ時刻の70分前までに会場に到着しなければならない。

【表彰】

優勝チーム

埼玉県知事杯(持ち回り)・NHK杯(持ち回り)・共同通信社杯・埼玉新聞社盾・1種委員会杯・賞状・メダルを授与する。

準優勝チーム

賞状・メダルを授与する。

【義務】

優勝チームは天皇杯 JFA 第101回全日本サッカー選手権大会に埼玉県代表として出場する。

【その他】

- ① 参加資格に違反し、そのほか不都合な行為があった場合は、第1種委員会がこれを裁定する。
- ② 競技中における負傷・疾病等の応急処置以外は、各チームの責任で処置する。
- ③ 参加者は健康保険証を持参し、スポーツ傷害保険に加入していることが望ましい。
- ④ その他の諸問題が生じた場合はフェアプレー・規律委員会にて措置を決定する。

補足事項

【代表者会議】

■2020年4月9日(金)19:00 受付 19:30 開始 (公財)埼玉県サッカー協会 事務所

参加者:第1種委員、チーム代表者1名

当日提出物:エントリー選手の登録一覧表、プライバシーポリシー同意書

【エントリー】

- 参加選手は2021年度(公財)日本サッカー協会に登録済のチーム・選手であること。
- エントリーは2021年4月9日(金)までとし、エントリー表に記入し申請すること。
- 最終エントリーは2021年4月12日(月)15:00までとし、以降の追加、変更は認めない。

【審判員】

- 審判員は、キックオフ時刻の90分前までに会場に到着しなければならない。
- 主審、副審のいずれかにその職務の続行が不可能となる事態が生じた場合、第4の審判員が、主審、副審を務める。
- 緊急事態により審判員が交代した場合、または試合が中止になった場合の手当て等の支払いは次のとおりとする。
 - (イ)試合開始前に疾病、負傷その他の理由により審判員の職務を務められなかった場合、及び、試合が開始されなかった場合、手当ては支払わない。
 - (ロ)試合途中の負傷等により交代した場合、及び試合が中止になった場合の手当ては次のとおりとする。
 - 半額の手当てを支払う。
 - (ハ)試合途中から、より責任の重い職務についてした場合、新たな職務に対して定めた手当てを支払う。

【マッチコミッショナー】

- マッチコミッショナーは、次の事項を遵守しなければならない。
- キックオフ時刻の70分前に出場チーム(監督及びチームスタッフ)、審判員、運営責任者を集め、マッチ・コーディネーション・ミーティングを開催する。
 - 試合前に大会参加申込書、メンバー提出用紙ならびに選手証により選手の試合出場の資格を確認しなければならない。 ※「メンバー提出用紙」の記載に不備があればそのチームに訂正させる。

【試合の中止及び中断の決定】

- 試合の中止は、主審がマッチコミッショナー及び運営責任者と協議のうえ決定する。
- ※主審が到着する前にやむを得ない事情により試合を中止する場合、マッチコミッショナー及び運営責任者が協議のうえ決定する。

【キックオフ時刻の厳守及びハーフタイム】

- 第1種委員会が定めたキックオフ時刻を遵守しなければならない。
- いずれか一方のチームがキックオフ時刻に会場に現れない場合、相手チームは45分間待機する。
 - 前項の待機時間経過後、会場に現れなかったチームは、敗戦したものとみなす。
 - ハーフタイムのインターバルは、原則、15分間とする。
 - ※後半のキックオフ時刻は、前半終了時刻の15分後とする。

【メンバー提出】

- チームは、試合開始70分前までに「メンバー提出用紙」に必要事項を記入し、全選手の選手証とともに本部に提出し試合エントリーを完了しなければならない。
- 試合エントリー完了後からキックオフ時刻までの間における選手の変更は、練習中の負傷または急病等やむを得ない事情があり、かつ、主審及びマッチコミッショナーの承諾を得た場合に限り認められる。なお、認められる選手の変更は次のとおりとする。
 - (イ)先発選手の場合、控え選手を先発選手に変更し、新たな選手を控え選手として補充することができる。
 - 当該先発予定選手を控え選手に変更することはできないが、ゴールキーパーについては例外として認める。
 - (ロ)控え選手の場合、新たな選手を補充することができる。
 - ただし、補充する選手は出場チームが参加申込みをした30名の中からとする。

【敗戦とみなす場合】

- 試合が一方のチームの席に帰すべき事由により開催不能または中止となった場合には、その帰責事由あるチームは敗戦したものとみなす。

【不可抗力による開催不能または中止】

試合が不可抗力により開催不能または中止となった場合、その試合は、「再試合」、「再開試合」または「中止時点で試合終了」のいずれかとし、実施委員長が決定する。

■「再試合」、「再開試合」または「中止時点で試合終了」とは、次のとおりとする。

(イ)「再試合」 その試合を不成立とし、あらためて最初から別の試合を競技する。

(ロ)「再開試合」 その試合の中止時点から残りの試合時間を競技し、中止時点までと残りの部分の競技結果を合わせて1つの試合として取り扱う。

(ハ)「中止時点で試合成立」 中止以降の試合時間を競技することなく、中止時点の結果をもって1つの試合として取り扱う。

i) 試合開始前の場合、最大1時間待ち、不可能な場合はコイントスにより、勝敗を決する。

ii) 試合開始後、主審が試合中断を判断した場合、その後60分を超えた場合の処置は次のとおりとする。

・当該試合が前半を終えている場合は、試合が中断した時点でのスコアをもって試合成立とする。

ただし、スコアが同点の場合はコイントスにより、勝敗を決する。

・当該試合が前半を終えていない場合、さらに最大60分待ち再開不可能な場合は中断した時点でのスコアをもって試合成立とする。但し、スコアが同点の場合はコイントスにより、勝敗を決する。

【退場処分】

① 退場処分を受けた選手は、大会規律委員会の決定があるまで出場を停止される。また、退席処分を受けたチームスタッフについても同様とする。

② 退場を命ぜられた選手は、自動的に本大会次回戦の試合出場停止処分を受ける。本大会の終了、本大会からの敗退によって残存した出場停止処分については、順次次の公式戦で適用される。

【警告による出場停止処分】

① 本大会で累積された警告が2回となった選手は、自動的に本大会次回戦の1試合の出場停止処分を受ける。

② 同一試合で2回の警告による退場を命ぜられた選手は、自動的に本大会次回戦の試合1試合の出場停止処分を受ける。なお、本大会の終了、本大会からの敗退によって残存した同一試合2回での警告による出場停止処分については、順次次の公式戦で適用される。

③ 累積された警告での出場停止処分は、本大会終了をもって効力を失う。

以上